

兵庫県医師会ドクターバンクだより

ネット上でのマッチング、その後の求職者との音信不通

ドクターバンクの求職・求人登録はコンスタントに数を増やしている。しかし、ネット上で行われるマッチングでは、求職者は登録して1～2週間は盛んに求人側との間でメール交換が行われるが、間もなくマッチング活動が止まってしまう傾向が見られる。当バンクでは、求職者のその後のフォローアップとして、求職者にメールを送り「マッチングの成り行き」の確認作業を行っているが、返事がなく当バンクとの繋がりが途絶えてしまうケースがしばしば見受けられる。

求職者の就活は、マルチチャンネルで行われているのが現実で、友人・先輩・MR関連などのネットワークや民間斡旋業を通じて職場が決まっていくようだ。職場が決まれば、求職者は忙しく当バンクへの連絡が疎かになるのかもしれないが音信が途絶えることにバンクは困惑している。マッチング先が、当バンクに登録した求人医療機関であれば、求人側からマッチングの成否の連絡が入るので当バンクとしては成果を確認できるが、求職者との音信不通は、解決すべき次の大きな課題である。

ドクターバンク・コーディネーター 伊藤 芳久